

萩原町連区地域づくり協議会だより

みんなで考え、知恵を出し、参加する、新しいまちづくり



発行日：平成 28 年 5 月 1 日

第 66 号

発行者：萩原町連区地域づくり協議会 一宮市萩原町萩原字河原崎79(萩原町出張所内)電話 28-9009

平成 27 年度 萩原町連区地域づくり協議会定期総会が開催されました

報告者：広報広聴部会長 早川一三

平成 28 年 3 月 24 日（木）午後 1 時 30 分より萩原公民館講堂に於いて萩原町連区地域づくり協議会の定期総会が開催されました。

冒頭、花木会長より「皆様のご支援ですべての事業が無事に終了しました。来年度も同様のご支援・ご協力をお願いします」との挨拶がありました。

議事では、平成 27 年度の事業及び会計報告が承認された後、花木会長の留任が全会一致で承認され、平成 28 年度の役員が選任されました。続いて、平成 28 年度事業計画案・予算案が提案され承認されました。

最後に、今年度で退職される萩原中学校の後藤校長先生から萩原町の方々へのお礼のことばがあり、総会が無事に終了しました。

総会終了後全員で青山書記の先導で近くに設置された防犯カメラを見学に行き、犯罪防止に如何に役立つかを業者の方より説明を頂きました。



力強く挨拶をされる花木会長

萩原町連区地域づくり協議会 会長挨拶

報告者：会長 花木達美

日頃は、萩原町連区地域づくり協議会にご理解ご協力をいただきありがとうございます。私は、萩原町を住みよいまちにすることが地域づくりの役割だと思っております。

萩原町商店街には、日本で2ヶ所しかない祭りである「チンドンまつり」がありますが、おおいに自慢できることであると思います。また、各地域での活動では、萬葉公園高松分園の「花しょうぶ祭」、萬葉公園ほたるの会の活動等多くの活動をしていただいております。こうした多くのみなさんといっしょに住みよいまちづくりを進めていきます。

今回、当地域づくり協議会は一宮市から特別交付金をいただき、防犯カメラを萩原中学校、萩原小学校、中島小学校に5台ずつ合計15台設置させていただきました。また、「防犯カメラ作動中、地域の安全・安心を守ります」の看板も各地域に設置します。これにより、登下校時の子ども見守り隊のみなさんの活動の補助になるほか、多様化する凶悪犯罪に対し犯罪抑止効果を期待でき、みなさんが安心・安全に暮らせ、犯罪のない町づくりに役立つと思います。今後も、各町内において防犯カメラの設置推進のお役に立てれば幸いです。

最後になりますが、みなさま方には今後もご支援をお願いしまして私のあいさつとさせていただきます。



まちづくりに関するご意見をおまちしております。FAX68-1222 広報広聴部会宛

「花しょうぶ祭」を開催します。

報告者：萬葉公園顕彰会会長 加藤隆康

今年も6月11日・12日の2日間、萬葉公園高松分園で開催します。花しょうぶを觀賞して、ミスセタ・ミス織物との記念撮影や、琴の音を聞きながらのお抹茶を楽しんでいただきたいと思ひます。その他にも催しを用意していますので、ぜひお誘いあわせのうえお越しください。尚、「花しょうぶ祭」に合わせて開催していましたが「杵舞うたべ」については、今年は中止させて頂きます。飼育中の幼虫が原因不明で殆ど死んでしまいました。生き物を育てる難しさを痛感していますが、再度、飼育方法等を見直して再起を図ります。今年も皆様のお越しをお待ちしております。



今年も皆様のお越しをお待ちしております。

「ふれあい講演会」開催のお知らせ

報告者：生涯健康部会長 小川真範

今年度も「ふれあい講演会」を5月28日(土)に萩原小学校屋内運動場で、午後2時より行います。

講演内容は、「未来の科学者は君だ！」と題して、サーカスエコロジカルを行います。科学の事やECOの事を楽しみながら学んでいく体験型エンターテインメントショーです。ぜひ、皆さまお誘い合わせの上、ご来場ください。

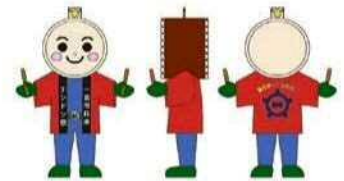


「びっくりポン！」な講演です。

第50回萩原チンドンまつり

報告者 萩原チンドンまつり実行委員長 岩田晴季

今年度も萩原チンドンまつりを、5月22日(日)に萩原商店街一帯において開催いたします。今年は、第50回という記念すべき大会にあたり、ゆるキャラのデザインを募集し、中島小学校6年生の花木来海(はなきくるみ)さんの作品が選ばれ、チンドンまつり当日会場にてお披露目いたします。



「チンドンゆるキャラ」のデザインです！



場所：郷土資料館(串作字流)
郷土史研究会主催、協力：御霊会
2015.12.5~2016.3.27

萩原 いま、むかし 特別編

～戦後70年前の記憶 萩原町の戦争遺跡・慰霊碑～

会期中は、萩原町内から多くの方々が来館されました。見学者数は延べ200人を超え、展示以外に、戦争体験のエピソードをお話いただく機会にも恵まれました。改めて、平和と命の大切さに気づくことができたと思ひます。

次回(会場未定)は、萩原の戦没者330名のデータ分析。軍需工場での体験談。当時の教育状況。高松の詩人 佐藤一英氏が終戦直後の少年雑誌に執筆した「武器のない世界」などを題材に7月～8月頃に開催する予定です。夏休みの自由課題もかねて、祖父母親子三代で是非お越しください。(郷土史研究会一同)

お願い 郷土史研究会では、戦前の昭和初期から昭和30年代頃迄の写真を探しています。

次号は9月1日号(予定)です。